

令和5年度

教科書調査研究報告書

小学校

算 数

富士地区教科用図書採択連絡協議会

富士地区教科書研究委員会

I 調査研究対象教科書

発行者	書名	学年
2 東京書籍	あたらしいさんすう 新しい算数	1～6年
4 大日本図書	たのしいさんすう たのしい算数	1～6年
11 学校図書	みんなとまなぶしょうがっこうさんすう みんなと学ぶ小学校算数	1～6年
17 教育出版	しょうがくさんすう 小学算数	1～6年
61 新興出版社啓林館	わくわくさんすう わくわく算数	1～6年
116 日本文教出版	しょうがくさんすう 小学算数	1～6年

II 調査研究の観点

1 内容

- (1) 数量や図形についての基礎的・基本的な内容が身に付くよう配慮されているか。
- (2) 数学的な活動を通して、筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、数理的な処理のよさに気付くよう配慮されているか。
- (3) 身に付けた基礎的・基本的な内容を深める観点から、進んで活用する内容や発展的な内容、教科等横断的な内容が取り上げられているか。

2 組織・配列・分量

- (1) 教材の系統性が配慮され、他学年の内容を含めた学習内容との関連が図られているか。
- (2) 児童が既習の内容を振り返りながら、主体的に繰り返し学習が進められるよう配慮されているか。

3 児童の発達の段階への配慮

- (1) 各学年の発達段階や習熟の程度に応じた適切な教材や用語、記号、図などの取扱いが配慮されているか。
- (2) 児童の興味・関心や生活経験に基づく教材を取り上げ、意欲的に学習できるよう配慮されているか。

別紙様式 2

種目名	算数
-----	----

発行者 番号 略 称	教科書名	調査・研究結果
		(①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
2 東書	新しい算数	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「今日の深い学び」では、児童が見通しをもって問題解決に向かえるように構成されている。 ・QRコードによるデジタルコンテンツが充実しており、子供が自主的に学習を進められるよう配慮されている。 ・「できるようになったこと」「次に考えてみたいこと」や「それなら次は？」などがあり、子供が自分の学びを振り返り、次につなげることができるような工夫がされている。さらに、6年生の教科書には、中学校の学習内容の予告が書かれているところがあり、数学へのつながりに配慮されている。 ・単元末「つないでいこう算数の目」において、単元の学習で活用した数学的な見方・考え方を振り返り、生活や次の学習へ生かそうとする態度を養えるようになっている。 ・統計の領域では、表やグラフを活用する目的が示されており、扱うデータも工夫されているため、日常生活に生かしてみたいという思いが生まれる。また、資料を見る視点によって結論が変わるということに気付けるような工夫もある。
		<p><組織、配列、分量></p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生以外は2冊に分かれており、持ち運びがしやすい。 ・6年間の学習のまとめとして、「算数卒業旅行」があり、自分でコースを選んで学ぶことができるページが用意されている。 ・全体的に、スペースを狭くすることで、練習問題を多く配置している。
		<p><児童の発達段階への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生①が別冊になっており、入門期として使いやすい。全ページカラーで、一つ一つが大きく、書き込むこともできる。 ・色遣いが優しく、字や数字が目立つようになっている。 ・低学年では、写真を多く使い、具体物をイメージしやすくしている。 ・生活経験に左右されることがないように、導入の提示が工夫されている。また、「どうすればいいのかな？」という問いが生まれるような写真や絵の提示もされている。
		<p><総評></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生①が別冊になっており、操作をしたり、大きく書き込んだりすることができるため、発達段階に合っていて使いやすい。 ・統計の領域では、表やグラフを活用する目的が示されており、扱うデータも工夫されているため、日常生活に生かしてみたいという思いが生まれる。また、資料を見る視点によって結論が変わるということに気付けるような工夫がある。 ・子供が学習を深め、理解するためのデジタルコンテンツが充実している。

別紙様式 2

種目名	算数
-----	----

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
略 称		
4 大日本	たのしい算 数	<p>・導入場面では、考えたいという思いが生まれるような写真や絵の工夫がさ <内容>る。</p> <p>・図形領域において、形を弁別する際、図形の見方を育む工夫がされている。</p> <p>・多様な考え方の説明を学習者に促す内容になっているため、思考力・判断 力を高めたり、主体的な学びにつながったりする。</p> <p>・「学んだことを生かそう」では、単元で学んだことが生活場面や他教科の学 習とどのようにつながるのかが示されている。生活や他学習に活用しよう とする態度を培うのに適している。</p> <p>・問題解決時の考え方の動画が見られるQRコードがあり、多様な考えに触 れることができる工夫がされている。</p> <p>・働かせたい見方・考え方として、演繹的・類推・帰納的・発展の考え方が 示されており、巻頭ページに自分なりにまとめられるよう工夫されている。</p> <p>・単元末の「たしかめ問題」では、学習事項や見方・考え方等、身に付けた 力や大切だと思ったことを自分で振り返ることができる設定になっている。</p> <hr/> <p><組織、配列、分量></p> <p>・スペースが広くあり、見やすい。</p> <p>・領域ごとに色別になっていたり、「ひらめきアイテム」があってシールを貼 って見方・考え方を確認できたりするなど、たくさんの工夫がされている。</p> <p>・2～6年は学年1冊の合本とすることにより、1年間の学習を見通せるよ うになっている。また、プログラミング的思考力を育めるよう、各学年2 回ずつプログラミングに触れるページを掲載している。</p> <hr/> <p><児童の発達段階への配慮></p> <p>・外国籍の児童がイラストや写真で登場しており、多様性に配慮されたつく りになっている。</p> <p>・つまずきやすい部分を詳しく説明したり、示し方を工夫したりしている。</p> <p>・各ページにあるQRコードのリンク先の内容が短い言葉で示されているの で、自分に必要な情報なのかが一目で分かり、家庭学習でも活用しやすい。</p> <p>・1～3年生に「おうちで算数」のページ、3～6年生に「ふくろう先生の なるほど算数教室」のページがあり、学年に合わせて楽しみながら学べる ようになっている。</p> <hr/> <p><総評></p> <p>・「学んだことを生かそう」や「読み取る力をのぼそう」では、単元で育んだ 見方・考え方を働かせて課題解決することによって、生活において算数を 活用するよさを感じられるようになっている。</p> <p>・算数の学び方を示すとともに、考え方の説明を学習者に促す内容になっ ているため、協働的な学びにつながりやすくなっている。</p>

別紙様式 2

種目名	算数
-----	----

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
略 称		
11 学図	みんなと学 ぶ小学校算 数	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年間を通して、9つの「考え方モンスター」を用いて、数学的な見方・考え方を育むように工夫されている。また、モンスターの紹介ページが、折込形式になっていることにより、考え方モンスターを使って考えたり、見つけたり、意識したりしながら楽しく学べるようになっている。 ・「算数をつかって」では、SDGsと関連付けたテーマや他教科や総合的な学習と関連した内容になっているため、現代的な課題について、学習内容を活用できるようになっている。 ・多様な考えを「～さんの考え」として示し、その意味を考える場をつくることで、思考力、判断力、表現力等を身に付けることができる。 ・統計の領域では、目的に応じてどのようなグラフをつくり、どう読み取ればよいかを考えられるようになっている。 ・「めあて」が子供の問いとして示されており、主体的な学習につながる助けとなっている。 <p><組織、配列、分量></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間ごとの学習の最後に、疑問の吹き出しが書かれており、子供の思考の流れが分かるようになっている。さらに、その疑問が次時につながる構成になっている。 ・学習内容を年間2回に分けて配列することで、既習事項を再度思い出して活用したり、定着を確実にしたりする効果がある。 <p><児童の発達段階への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年AB版サイズで、スペースが広く、字が読みやすい。 ・全学年2冊に分かれており（6年は中学校へのかけ橋）、持ち運びやすい。 ・単元の導入がストーリーのようになっているので、算数の学習に苦手意識のある児童でも、興味をもてるように工夫されている。 ・1～6年までの図・表の系統性が考えられており、3年生以上には、図や表の使い方やかき方などを学ぶページが設定されている。4年生からテープ図に加え、4マス関係表が出てきており、多面的な考え方ができるように工夫されている。 ・操作をしながら理解を深めたり、気付きを得たりできるよう、付属カードを付けたり、教科書に操作ができるスペースを設けたりしている。 <p><総評></p> <ul style="list-style-type: none"> ・見方・考え方を9つのモンスターで表すことで、子供が活用した見方・考え方を認識したり、課題解決の見通しをもったりしやすくなっている。 ・図や表の使い方やかき方などを学ぶページを設定したり、4マス関係表などの多様な図や表を提示したりすることにより、子供自身が必要な図や表を判断し、課題解決に活用できるようになる。 ・「めあて」が、子供の思いや問いに寄り添ったものになっている。

別紙様式 2

種目名	算数
-----	----

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
略称		
17 教出	小学 算数	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 単元のまとめで、「考えるヒント」のコーナーがあり、式や筆算と図をつなげて考える等の新たな視点があり、数学的な見方・考え方を広げられるように工夫されている。 練習問題後、「ステップアップ算数」のページが示されており、児童の実態に応じて問題数を変えることができる。 単元の流れが日常の場面にあるストーリーのようになっているため、分かりやすい。さらに、児童のつぶやきやはてな、なるほどが吹き出しになっていて思考の流れが分かる構成になっている。 「算数を使って考えよう」では、学習したことをもとに実生活で活用できる内容を取り上げている。ただ答えを導くのではなく、結果から考えることができるように工夫されている。 単元末の「4コマ漫画」において、学んだことのよさや見方・考え方を振り返れるようになっている。「なるほど」→「だったら」と数学的な見方・考え方のつながりが見えるようになっている。 「算数ひろば」が豆知識のようで興味をひく内容である。 学習のまとめりごとに「課題→ステップ→発表・話し合い→振り返り・まとめ→たしかめ→練習」という展開で構成されており、概念や見方・考え方を無理なく拡張していけるようになっている。 <p><組織、配列、分量></p> <ul style="list-style-type: none"> 6学年分（上下も含めて9冊）背表紙の色が異なり、上下を間違えにくい。 巻頭に「算数のミカタ」「算数の考え方」「まなびリンク」が示されており、既習の学習を確認することができる。 他教科とのつながりを意識した構成になっている。 <p><児童の発達段階への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> 線分図、数直線のかき方を説明したページがあり、全ての児童が理解できるように配慮されている。 表紙に「さんすうアニメを見よう」というQRコードがあり、算数に苦手意識のある子でも学習に興味をもてるような工夫がされている。 巻末に前学年までの学習事項がまとめられているので、定着が十分でない子供も既習事項を思い出して考えることができる。 <p><総評></p> <ul style="list-style-type: none"> 吹き出しに子供の気付きが多く示されていたり、図や表に考え方が丁寧に示されていたりするため、解決の見通しをもちやすくなっている。 数学的な見方と考え方を区別して示されているため、数や図形などを捉える視点を明確にもちながら、課題解決や分析ができるようになっている。

別紙様式 2

種目名	算数
-----	----

発行者 番号	教科書名	調査・研究結果 (①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
略称		
61 啓林館	わくわく算数	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・類推・統合・演繹・帰納・発展の考え方が吹き出しで色を付けて強調されているため、子供が見通しをもちながら学ぶことができるようになっている。 ・「学びのサポート」として、既習事項を確認する問題や発展的な問題がまとめられており、個に合わせて学習を進められる。 ・「学びをつなげよう」が見開きで示されており、定着に不安を感じる子も既習の内容を活用しながら、学べるようになっている。 ・3年時から線分図を活用しており、5年の割合の学習では図の表し方の説明ページがあることで理解しやすくなっている。 ・「算数の自由研究」や「やってみよう」のページがあり、数学的な見方・考え方を働かせて、学んだことを生活と結び付けられるような投げ掛けがされている。 <p><組織、配列、分量></p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元が細かく分かれており、子供も教師も今何を学んでいるか掴みやすい。 ・既習の学習を次の学びへとつなげられる構成になっている。 ・学年の始めは、楽しく学習できるような内容になっており、屋外での活動や水を使う単元は暖かい時期に設定してある。 ・余白が広く、読みやすい作りになっている。 <p><児童の発達段階への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年までは、個数に着目した相対的な見方ができるように、貨幣や紙幣を取り上げている。 ・「めあて」につながる「めばえ」が示されており、子供の気付きや問いから学びがスタートしやすくなるため、主体的に学びに向かうことにつながる。 ・低学年では、色や向きを揃え、子供がものや形を認識しやすくする配慮をしている。 ・解説動画が充実しており、授業の内容を家庭学習で振り返ったり、自分で学んだりできるようになっている。 <p><総評></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「めあて」につながる「めばえ」が示されており、子供の気付きや問いから学びがスタートしやすくなるため、主体的に学びに向かうことにつながる。 ・「算数の自由研究」や「やってみよう」のページがあり、数学的な見方・考え方を働かせて、学んだことを生活と結び付けやすくなっている。 ・早い段階から線分図が示されており、線分図をその先の学びに活用できるようになっている。

別紙様式 2

種目名	算数
-----	----

発行者 番号 略 称	教科書名	調査・研究結果
		(①内容、②組織、配列、分量 ③児童の発達段階への配慮)
116 日文	小学算数	<p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあての近くに働かせたい見方・考え方を配置することによって、自分の力で見通しをもったり、筋道を立てて考えたりできるようになっている。 ・2年生以上の上の巻末に「算数でつかいたい見方・考え方」ページが切り離せるように入っており、見方・考え方を働かせる支えとなっている。 ・新しい単元に入る前に、「次の学習のために」のページがあり、既習事項を確認したり、家庭学習で取り組んだりすることで、学習の定着につなげることができる。 ・「データの調べ方」の内容が丁寧に扱われており、他教科の学びとつなげたいと思えるようなストーリーが示されている。 ・「さんすうジャンプ」では、学習したことをもとに生活場面を考えることができ、考える力を伸ばしたり学びを生かしたりする場の設定がされている。 ・巻末に前学年までの学習事項が掲載されているので、個に合わせて振り返ることができる。 ・目的に合わせてQRコードを使って、自分でヒントを得ることができる。
		<p><組織、配列、分量></p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節に合わせた絵（夏に学習する単元には、海の生き物やお祭りの絵）が掲載されている。 ・低学年は、単元を分散的に配列し、同じ内容が長い期間続かないように、高学年は、学習効率を考慮し、関連する内容をまとめた配列になっている。 ・6年間のつながりを意識し、早い段階からその考え方に触れられるような構成になっている。
		<p><児童の発達段階への配慮></p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsや他教科とのつながりを意識して作られており、日常生活で算数を生かす視点を持ちやすくなっている。 ・1～4年は2冊に分かれており、5・6年は、しおりがついていて使いやすくなっている。 ・言葉や内容の理解、算数を活用するよさにつながるように、絵、写真、付属カード等が工夫されている。
		<p><総評></p> <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な構成となっており、数を捉えやすかったり、学習内容を掴みやすかったりしている。 ・「算数でつかいたい見方・考え方」ページが切り離せるようになっており、見方・考え方を働かせる支えとなっている。